

上田 悠貴 (2010 年卒)

留学施設 National Cancer Institute / National Institutes of Health

留学期間 2022 年 9 月～2025 年 12 月

私は大学院生の時に病態シグナル学部門(PI:高井義美教授)で基礎研究について指導いただきました。更なる基礎研究の研鑽を積みたいという気持ちがあり、アメリカの NCI / NIH を留学先に選択し、Postdoctoral Visiting Fellow として前半と後半で2つの研究室に所属していました。前半は Coleman 研究室(PI: Dr. Norman Coleman)で、生体模倣システムである Human Liver-on-a-chip を用いて放射線照射によって生じる遺伝子変化を全ゲノムシーケンス解析し RNA バイオマーカーや治療薬の探索をテーマとして研究を行いました。また、後半は Escorcia 研究室(PI: Dr. Freddy E Escorcia)で、Hydrodynamic Tail Vein Injection 法により作成した自然発生肝癌モデルマウスを用いて腫瘍特異的に送達される放射線医薬品による抗腫瘍免疫応答の活性化をテーマとして研究を行いました。NIH は世界中から研究者が集まっている世界最大の医学研究機関の1つで、様々な国籍やバックグラウンドの研究者と仕事のみならずプライベートでも交流を持つことができたのは留学でこそ得られる経験ではないかと思います。

家族ともイースター、独立記念日、ハロウィン、感謝祭、クリスマスなどの季節のイベントや MLB などのスポーツ観戦を楽しんだり、キャンプや東海岸を中心に旅行に出かけたりすることができたことは、かけがいのない一生の財産だと思います。

外科医のキャリアパスの1つとして基礎研究での海外留学を考えておられる方がいらっしゃればご相談ください。



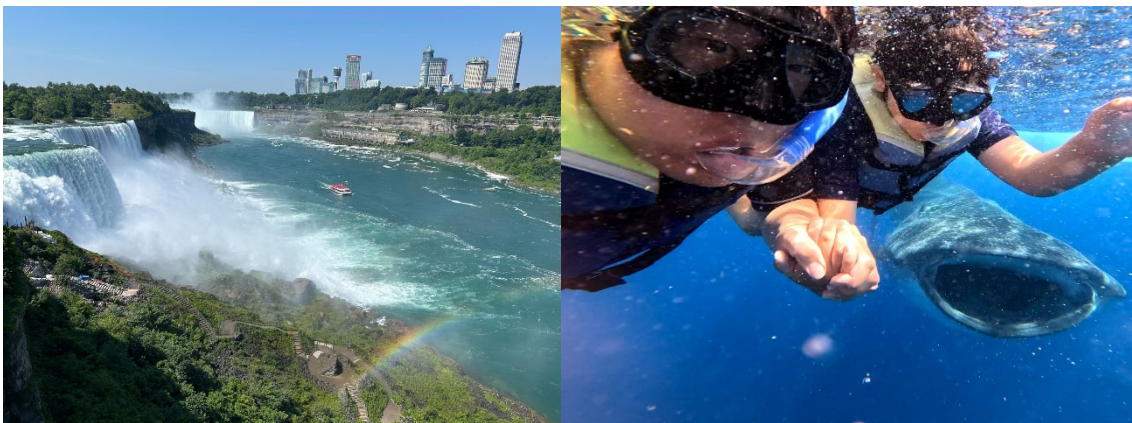
(左：Coleman 研究室のメンバーと。右：Escorcia 研究室のメンバーと。)



(左 NIH Building 10。中：White House。右：Washington Monument。)



(左：スペースシャトルと。中：ハロウィン。右：クリスマスツリー伐りだし。)



(左：Niagara Falls。右：Cancun でジンベイザメと。)